

短歌

冬温く夏は冷たく脈みやくと
 村人はぐくむ里の湧水
 春立ちてまだ役立つかこの歳も
 針の仕事は我にまわり来
 車窓より沿道に並ぶ彼岸花
 照らすライトの灯のまぶしげに
 黄金田の風にせかされ帰途につく
 庭先びっくりセンサー外灯
 腕時計見る事多き病窓に
 長きひと日の夕陽落ちゆく
 古里とふこのふくらみに抱かれて
 遂に淋しき風を聞く耳

池田たかお
 坂本 竹子
 前田サチヨ
 阪野 章子
 石山 幸子
 東 左千子

かなしき原俳句会

岩を噛む木の根たくまし秋山路
 口開けしまま貫かれ鴟の贅
 烏瓜色づきて世にみとめられ
 咲き残る花に群がる秋の蝶
 父母を偲ぶ祈りや秋しぐれ

康子 弘子 誠一 良一 淑

菊水俳句会

玉じやりの音の嬉しさ七五三
 健やかな金婚の風爽やかに
 紅葉且散る校庭のがらんだう

克代 謙三 貞子

肥後狂句会

神楽舞う父の姿を見る子かな
 風の道万のコスモス揺れにけり
 厨房の水のひんやり冬隣
 石路の黄の野に昏れたれば家灯る
 蟻の青きままにて果てにけり
 刈り終へて案山子も連れて帰りをり

原 かよこ
 中山ミサト
 宮中ミスエ
 宮中 康雄
 永田 紘彦
 池田 松子

スゴイ！百才の人其処此処に
 スゴイ！人間技じやなか選手
 スゴイ！男退き女知事
 ずばつと嫁の云い分一理ある
 おかげさまで白寿なつても医者知らず
 おかげさまで兄弟みんな元気です
 おかげさまでケンカしーしー五十年
 おかげさまで頼りにされるおさんどん

後藤 撫子
 瀬上 歌子
 井上りんどう
 石原かわせみ
 庄山 道草
 福永すみれ
 池田 茜
 大山コスモス
 二瀬 桔梗

人権の窓 7

「二冊のノート」

私の息子は中学生と小学生だが、認知症の私の母にきつく当たりだした。母は、早くに夫を亡くし、私たち兄弟を育ててくれた。私たちが同僚の女性と結婚して子どもができたが、共働きなので、二人の子どもの面倒は母に見てもらってきた。

その母が、長男が中学生、二男が小学5年生になったころに症状が開始した。朝から長男の数学の問題集が見当たらない。長男が、「おばあちゃん、またどこかに片づけたんじゃない。」母は、「知らないよ。そんなに大事なものは自分できちんとしておきなさい。」と言った。

ところが、みんなで探していたら、押し入れの新聞入れに昨日の新聞と一緒に入っていた。「あった、あった」と弟が持ってきたから、「それ見ろ。やっぱりおばあちゃんじゃないか。」「しっかりしてよ。近頃だいぶんぼけているよ。」「僕たち迷惑しているんだよ」と二人して母を非難した。

それから数日後、長男が探し物をしていて、引き出しの中に手あかで汚れた一冊のノートを見つけた。そのノートは母が震えた筆の運びで、日記風に書き綴ったものであった。見てはいけないと思いつつちらっと見た

ら、「この間までおむつを替えていた孫が中学校へ行くようになった。孫が成長した分だけ、私は年を取った。記憶もだんだん弱くなってしまい、今朝も孫たちからしかられてしまった。自分では気づいていないけれど、ほかに迷惑をかけているのだろうか。あと十年、いやせめてあと五年、なんとか孫たちの面倒を見なければ…。まだまだ老け込むわけにはいかない。」

それから先はだんだん字が乱れていた。長男にノートをそっと見せた。長男は、一番最後のページにポツンとにじんだインクの痕を見つけた。それを見た瞬間、いたたまれなくなって、外に飛び出した。

母は、草を引いていた。長男は黙って母の横に並んで草を引き始めた。

「おばあちゃん、きれいになったね。」と一言声を掛けた。母は、にっこりとうなづいた。

(ある町の啓発パンフより)

子や孫の幸せのためにと労を惜しまず生き抜いてこられた高齢者の方々に、「家族に迷惑をかけているのでは？」と、悲しくつらい思いをさせていることはないでしょうか。

高齢者の方々の尊厳が守られ、誰もが最期まで自分らしく生きることが出来る社会になるよう、誰もが来るべき自分の問題として考えていきたいものです。

和水町人権教育指導員 緒方正雄

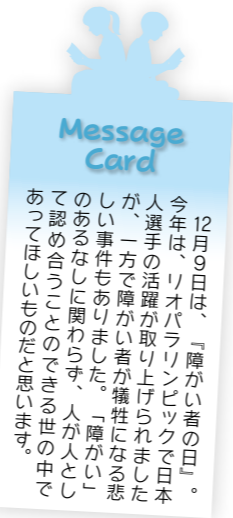
図書室 本紹介



『わたしは目で話します』

たかおまゆみ 著/楳原成社

聾学校の教師から、ドイツ語の翻訳者へ。そして、全身の筋肉が動かなくなる難病ALSを発症し音声を失うまで、一貫して言葉の問題にかかわり続けてきた著者が、病を得て今あらためて思うことは？話すことに悩みを持つ、すべての人々へ贈るメッセージ。



『暗いところ待たせ』

エイズリーマンソン 著/楳原成社

目の見えないミチルの家に、殺人容疑で警察に追われたアキヒロという男が逃げ込み、気づかれないように潜み始める。ミチルは、誰かがいることを確信するが、気付かないふりを続ける。アキヒロは、物音を立てないよう静かにしているだけで、危害を加えるどころか、むしろミチルが大げがをしそうになるところを助けてくれたりする。主人公二人のお互いを思いやる気持ちに、心穏やかになる作品です。

『車いすで世界一周』

エイズリーマンソン 著/楳原成社

大切なのは、夢をあきらめないこと。地球一周の長さとはほぼ同じ、4万75キロメートルを車いすで走ったリック・ハンセン。パラリンピックでも六つのメダルを手にするリックは、どんな男の子だったのでしょうか。

12月リサイクル体験受講者募集

申し込み先：クリーンパークファイブ 住所：玉名郡長洲町名石浜42-1 ☎0968・78・4433

リサイクルプラザのしん

日	時間	講座名	講師名	募集人員	募集期間	準備するもの
16日(金)	午前9時30分 ～午後4時	丸帯締め飾り(猿織)	古 千代氏	10人	電話受付	①丸の帯締め1本(七五三用) ②手芸用の綿少々 ③ピンセット ④裁縫道具 ⑤普通針 ⑥弁当 ⑦材料費1,620円
					希望者多数の場合の抽選日	
					14日(水) 午前10時	

電話で受付を行い、受講希望者多数の場合は抽選となります。その場合は、電話でご連絡いたします。(必ず受付時、連絡の取れる電話番号をお願いします) 電話がない場合は、受講決定ですのでリサイクル体験講座開講日においでください。なお、土曜日・祝日は終日休みとなっており、日曜日は午前10時～午後4時まで電話受付を行っていますので、お気軽にお申し込みください。